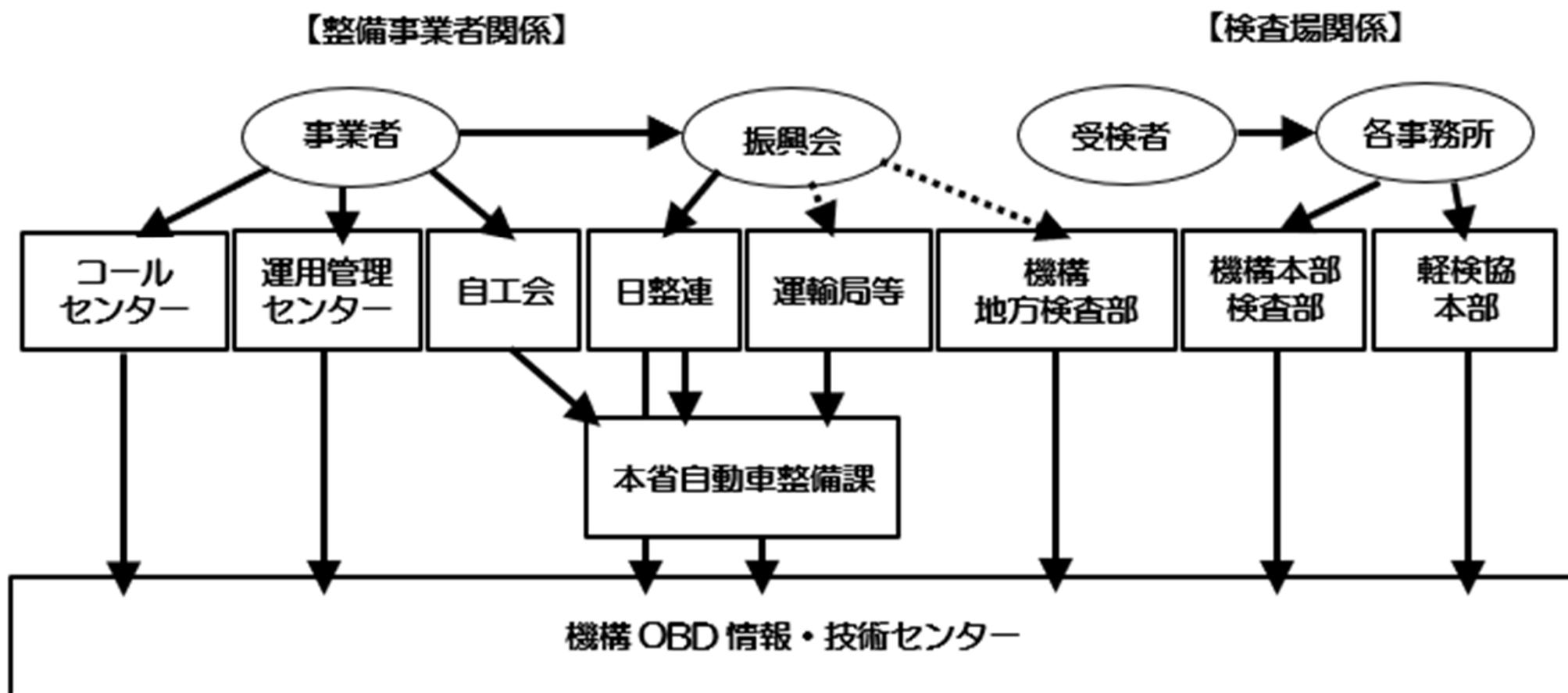


報告されている課題

報告されている課題の収集

- 令和6年10月1日から法令が適用となったOBD検査を通じて得られた課題について把握するため、整備事業者関係者及び検査場関係者から情報収集を実施。
- 情報収集フローは下図のとおりであり、独立行政法人自動車技術総合機構において一元的に課題を集約することとしている。

※情報収集期間：令和6年11月8日～令和7年2月10日



項番	意見元	課題	国土交通省、(独)自動車技術総合機構の対応
1	振興会 機構	<ul style="list-style-type: none"> ● 改造車(型式に「改」が付く軽自動車)において、車両情報を「二次元コード読取」で入力した場合は「<u>検査不要</u>」と表示され、「手入力」で入力した場合は「<u>検査要</u>」と表示された。 <p>(車検証の券面には、「OBD検査対象」、「OBD検査開始年月日 令和6年10月1日」と表示されており、OBD検査対象と思われる)</p> <ul style="list-style-type: none"> → 二次元コードリーダで読み取った場合、型式が「3BD-S710V“K改」となり、OBD検査不要となる。 → 手入力で正しい型式「3BD-S710V改」を入力すると、OBD検査要となる。 <ul style="list-style-type: none"> ● 軽自動車検査協会においても、二次元コードリーダを使用して車両情報を入力していると思われるが、同様に検査不要となってしまうのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>Microsoft Surface</u>などキーボードの初期設定が異なるPCやタブレットにおいて、「二次元コード読取」で車両情報を入力すると、日本のキーボードと一部設定が異なるため、<u>正確に入力できない事象が確認されています</u>。この場合、「OBD検査不要」と判定されます。 ● 具体的には、車検証の二次元コードを「<u>読取モード2</u>」で読み取る際、キーボード設定が英語キーボード(101/102キー)になっていると、「*(アスタリスク)」での入力が入力される場所、「”(ダブルクォーテーション)」が入力されてしまいます。 ● 上記の問題は、PC又はタブレットの設定を変更することにより解消可能です。OBD検査コールセンターへお問い合わせください。 ● なお、検査場では、当該仕様のPC・タブレットを使用していないため、同様の事象は発生しません。
2	振興会	<ul style="list-style-type: none"> ● 通信プロトコルISO13400(DoIP)の車両には、これに対応するスキャンツールを使用する必要があるが、<u>DoIP非対応の検査用スキャンツールを使用した場合、検査実施者はその旨がわかるのか。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>通信プロトコルISO13400(DoIP)の車両に、DoIP非対応の検査用スキャンツールを使用した場合、通信が成立せず、検査を行うことができません。</u> ● 具体的には、DoIP非対応の検査用スキャンツールを用いてOBD検査を行おうとした場合、特定DTC照会アプリにおいて、①警告メッセージの表示を行うとともに、②検査結果を表示しない仕様となっております。

項番	意見元	課題	国土交通省、(独)自動車技術総合機構の対応
3	指定	<ul style="list-style-type: none"> ● OBD結果参照システムでのOBD検査等の検索結果が1ページあたり5件しか表示されず、かつ表示部分の範囲が狭くて検査結果が確認しづらい。 ● <u>より多くの検索結果が1ページで表示されるように改善して欲しい。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ● ご指摘を踏まえ、<u>システム改修を検討中</u>です。
4	振興会	<ul style="list-style-type: none"> ● 登録自動車と軽自動車で電子車検証の備考欄の「OBD検査対象」の記載位置が違う。 (登録自動車は最初に記載されており、軽自動車は最後に記載されている。) ● OBD検査対象車であることの見落としの原因となるため統一してほしい。特に軽自動車が見落としやすいと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 軽自動車の車検証備考欄の「OBD検査対象」の記載を、登録自動車と同様に最初に位置するようにする改修を令和7年度中に行うことを検討中です。 ● また、備考欄で当該記載が目立つように、【OBD検査対象】(太字のカッコをつける)と記載する改修も検討しています。

項番	意見元	課題	国土交通省、(独)自動車技術総合機構の対応
5	振興会	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>振興会の施設に、「検査場でOBD検査不適合となった車両のDTCを消去してほしい」との申し出があったが、振興会施設において実施してよいものか分からずに、お断りしてディーラーを案内した。</u> ● <u>振興会施設で、DTCの消去を行ってよいか。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>振興会等施設におけるDTCの消去については、特定整備に該当しない限り、不可とする規定はありません。</u> ● <u>ただし、故障探知(DTCが出た要因の把握)を行わずにDTCのみを消去した場合、警告灯が再点灯するなど故障が再発する可能性や最悪の場合には事故につながる可能性があります。この点を踏まえ、当該整備事業者及び振興会の施設の責任に留意して対応してください。</u>
6	振興会	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>スピードメータ検査を行うとABSのテルテールが点灯して、その後、走行によりテルテールが消えても、特定DTCは残ってしまう車両(型式:6AA-ZWE219W)がある。</u> ● <u>指定工場において、この車両のスピードメータ検査を実施してから、OBD検査を実施する場合、同様の事象の発生が想定される。</u> ● <u>この場合、自事業場の整備用スキャンツールでDTCを消去できないときは、ディーラーに持ち込みDTCの消去を依頼せざるを得ないが、これは、優良自動車整備事業者認定規則第5条第1項第1号のただし書に掲げる作業(特殊な整備作業)の「リ自動変速装置その他特殊な部品の修理」に該当する(即ち、当該作業は外注可とする)ことよろしいか。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>ご指摘の解釈により、当該作業を外注することは可能です。</u> ● <u>なお、スピードメータ検査により特定DTCが記録される事象については、当該メーカーに共有の上、対応を検討します。</u>

項番	意見元	課題	国土交通省、(独)自動車技術総合機構の対応
7	指定	<ul style="list-style-type: none"> ● 当事業場(指定工場)では、中古車の販売も行っているが、DTCの消去だけでは不安なため、<u>OBD確認を実施して販売したい。</u> ● 全ての点検をする訳ではないが、<u>一部の点検としてOBD確認できないか。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>自社で点検を行った車両であれば、当該点検の範囲にかかわらずOBD確認を行うことは可能です。(この場合、当該点検及びOBD確認の実施については、当該事業者が責任を負うこととなります)</u> ● <u>ただし、一切の点検整備を行わず、又は他者の依頼によりOBD確認のみを実施することは不可です。</u>
8	指定 認証	<ul style="list-style-type: none"> ● ごく稀に、<u>OBD検査対象車であるにも関わらず、車検証の備考欄に「OBD検査対象」の記載がない車両があったため改善していただきたい。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一部の車検証(約200台)において、備考欄の「OBD検査対象」の記載漏れがありました。多大なるご迷惑をおかけして申し訳ございません。 ● <u>これらの車検証は、全て補正処理を完了し、現時点で記載が漏れている車両はありません。</u> ● 今後、同様のことが発生しないよう再発防止策を進めてまいります。
9	指定	<ul style="list-style-type: none"> ● 車検証に<u>OBD検査対象と記載があり、OBD確認を行ったところ「検査不要」となった。</u>どちらを信じれば良いのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 車検証に「OBD検査対象」の記載があっても、<u>検査日が、型式指定から2年が経過していない場合や、初度登録年月(軽自動車は初度検査月)の前月の末日から起算して10ヶ月を経過していない場合は、OBD検査が不要となります。</u> ● 特定DTC照会アプリにおけるOBD検査要否確認については、これらの条件を踏まえて判定を行っておりますので、こちらの結果に沿ってOBD検査の要否を判断してください。

項番	意見元	課題	国土交通省、(独)自動車技術総合機構の対応
10	指定 認証	<ul style="list-style-type: none"> ● 特定DTCが出ていても、警告灯が点灯せず、スキャンツールで確認することで初めてこれ分かるものがあると運輸支局や運輸局主催の説明会で聞いた。 ● <u>ユーザーは、特定DTCが出ていることを知らずに乗り続けていることになる。</u> ● ユーザーが認識できるように特定DTCが出た場合は警告灯を点灯させるように、メーカーに対して指導等は行っているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 警告灯の点灯条件は、法令に定めがある一部を除き、自動車メーカーの判断により設定されています。 ● 具体的には、運転者に対して、車両が運転を行う上で危険な「異常状態」にある旨を知らせることが目的です。このため、例えば、自動ブレーキのカメラに水滴がついて一時的に作動しない状態や、雪上で横滑り防止装置が適切に機能しない状態等、「故障」ではないものの、<u>運転者にその異常を知らせる設計が採用されています。</u> ● これに対して特定DTCは、運転中に直ちに重大な危険が生じないものを含め、保安基準に適合しなくなる「故障」の存在が推断される場合に記録されます。 ● このような(警告灯が点灯しないが特定DTCが記録される)故障は、車検の機会に確実に整備を行っていただくことを目的として車検不合格としています。
11	振興会	<ul style="list-style-type: none"> ● 振興会として認証工場の電子制御装置整備認証の取得やOBD検査への対応を指導したい。 ● このため、<u>認証工場のOBD検査システムへの準備状況(ID登録完了率、初回ログイン完了率、初回アプリ使用率)に関する、エクセルデータ及びグラフ化したものを提供いただきたい。</u> ● また、<u>OBD検査システムにおけるID申請済整備事業場の一覧表の送付について9月末で情報提供が終了したが、引き続き情報提供願いたい。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ● これまでにいただいた要望等を踏まえ、<u>OBD検査システムへのID申請済整備事業場の一覧を、日整連を經由して送付しております。</u> ● こちらを活用し、各振興会にて、会員の認証工場における登録状況を把握してください。

項番	意見元	課題	国土交通省、(独)自動車技術総合機構の対応
12	振興会	<ul style="list-style-type: none"> ● OBD車検について、ユーザーに理解してもらえない。 ● <u>どうすれば、車の素人であるユーザーに納得してもらえるかに苦心している。</u> ● <u>そこで行政の立場でユーザーに説明するとすればどう説明し、理解を求めるか是非とも教えていただきたい。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下のポイントで説明してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ OBD検査は、以下を背景として、国が法令に基づき義務付けた検査である <ol style="list-style-type: none"> ① 自動ブレーキ等の先進安全技術が急速に普及 ② これらの装置が故障した場合、不作為や誤作動が懸念される。実際に事故も生じている。 ③ しかしながら、これらの電子的な故障は、従来の車検手法では検知できない ④ OBD検査は、このような電子的な故障も検出可能 ● なお、自動車ユーザーに向けてOBD検査を説明するページを国交省HPに設け、周知用チラシ等も掲載しておりますので、こちらも併せてご活用ください (参考資料3「ユーザー向け周知用チラシ」参照)
13	指定	<ul style="list-style-type: none"> ● IDの切り替えが非常に面倒と聞きます。 ● <u>利用者ごとのIDではなく、事業場ごとのIDに統一していただきたい。</u> ● <u>また、アプリ操作の簡易化や誤操作防止について検討をお願いしたい。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下の理由から、IDを事業者ごとでなく利用者ごとに発行していません。 <ol style="list-style-type: none"> ① OBD検査は、検査員(個人)の責任と権限で行う ② IDの不正使用や流出等があった場合、事業者及び個人両方の責任を調査する ● アプリ操作の簡易化や誤操作防止について具体的な改善の要望がございましたら、OBD検査ポータル「OBD検査システムへのご意見・ご要望」へお寄せください。

項番	意見元	課題	国土交通省、(独)自動車技術総合機構の対応
14	指定	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>OBD検査対象車両かどうか検索できるサイトを設けてほしい。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「<u>OBD検査対象車型式一覧</u>」(PDF、Excel)を、OBD検査ポータルに掲載し、毎月更新を行っておりますので、こちらをご活用ください。 ● その他、車検証による確認、特定DTC照会アプリによる確認やOBD検査結果参照システムによる確認も可能です。
15	指定	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>OBD検査対象車両について、OBD検査はできても、診断(整備)が非対応のため、ディーラーへの持込が必要になるケースがありそうです。</u> ● OBD検査不適合の場合、認定されている検査用スキャンツールにより診断(整備)できるようにアップデートされるような環境を作ってもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 認定を受けた検査用スキャンツールであれば、全てのOBD検査対象車の検査を行うことができます。 ● これに対して、診断を含む「整備」を行うためには、整備用のスキャンツール(検査用スキャンツールと兼用のものを含みます)が必要となりますが、その機能は、公的に認定されておらず、様々です。 ● 行政としては、自動車メーカー、ツールメーカーと協力して整備用スキャンツールの機能拡張を図ってまいります。
16	指定	<ul style="list-style-type: none"> ● OBD検査に使用していたパソコンを買い替えた際、特定DTC照会アプリ等の移行をする前に古いパソコンを処分してしまい、再び利用できるまでに数日かかった。 ● 指定工場の場合、OBD検査が実施できない期間があると車検業務に支障をきたすため、<u>パソコン買い替え時の対応方法についてFAQ等で周知してほしい。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ● パソコンの買い替え時は、新たなパソコンの初期設定が必要になります。 ● <u>ご要望を踏まえ、パソコン買い替え時の対応方法についてFAQの記載等に追加します。</u>

項番	意見元	課題	国土交通省、(独)自動車技術総合機構の対応
17	指定	<ul style="list-style-type: none"> ● マニュアルではOBD検査(確認)で、「エンジンON」となっているが、「IGON」と勘違いが発生しているので表記を変えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ご指摘を踏まえ、マニュアルの記載を「<u>原動機始動(ハイブリット車、電気自動車はREADY)</u>」などに修正するよう検討いたします。
18	認証	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>コールセンターの対応時間を延長</u>してほしい。 ● 例えば、17時、18時頃より完成検査、OBD検査を行うことを想定すると、20時までは対応していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● コールセンターの対応時間(9:00~17:00)は、<u>予算の範囲内</u>で、利用者の利便性を考慮しつつ、問い合わせが多い時間帯やその件数等を踏まえて決定しています。 ● 夜間等は、問合せ件数が減る一方で、人件費が大きくなることから、現時点では行っていませんが、今後も引き続き、問い合わせ状況等を把握して、必要に応じて見直しを検討いたします。